

KANAGAWA



社団法人 神奈川県建築士事務所協会

URL <http://www.j-kana.or.jp/>

E-mail info@j-kana.or.jp

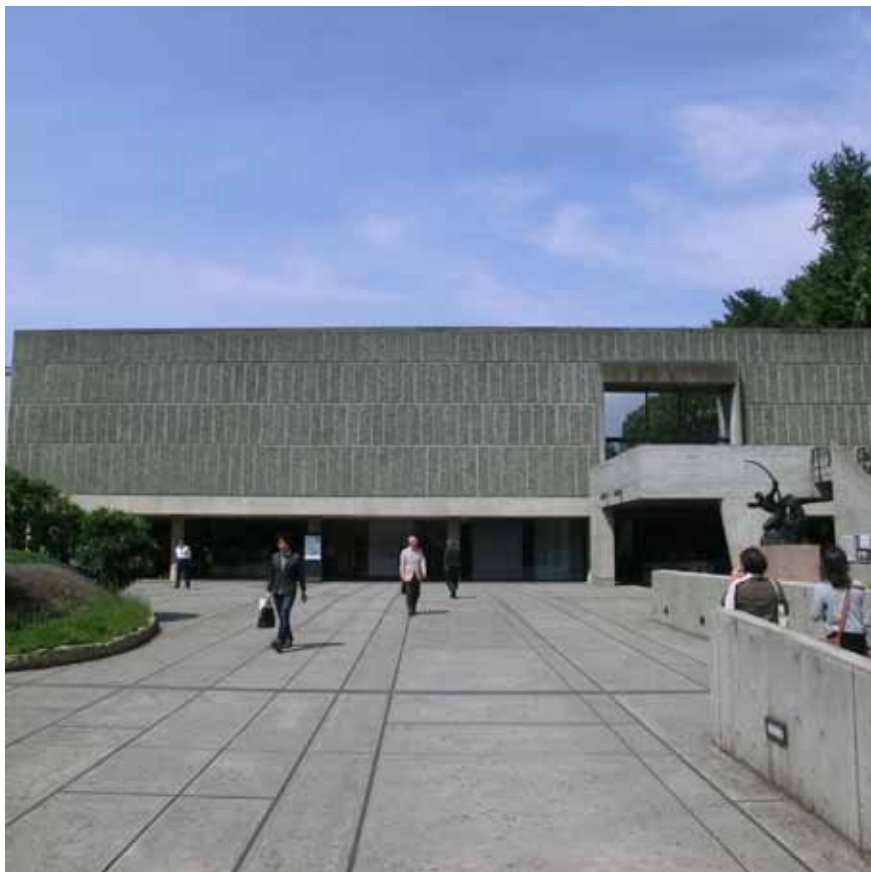
2012 年
7 月号

VOL.369



HP情報（会員ページ）

○都市計画法に基づく開発許可、宅地造成等規制法に基づく工事許可における擁壁に関する審査基準等の改正について（神奈川県建築指導課）



目次

①② 建築探訪

③④ 建物の維持保全を考える

⑤⑥ シリーズ ぶらり町並み散策

⑦ 理事会報告

委員会活動報告

⑧ シリーズ建築Q & A

チケットプレゼントのお知らせ

⑨ 賛助会員紹介

旅のクイズ

⑩ 事務局便り

編集後記

日本建築士事務所協会連合会は
創立 **50** 周年を迎えました

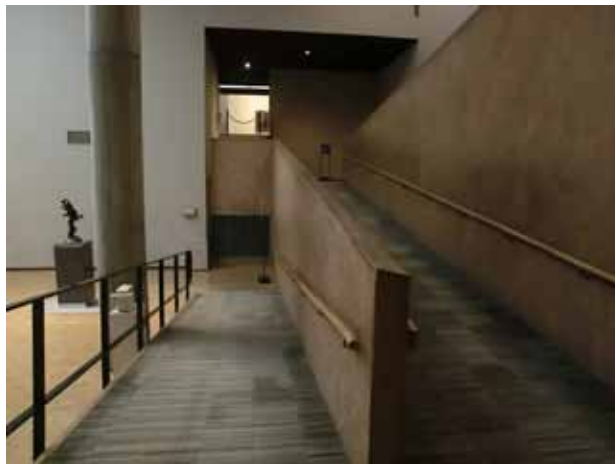
建築探訪

「国立西洋美術館」

横須賀支部 小泉 厚



正面外観



19世紀ホールのスロープ

大学入学とともに建築に携わり早30年。

子供のころから建築を目指していたとは言え、大学入学前は建築家と言えば「大阪万博の丹下健三」か「違いがわかる男の清家清」しか知らなかった若造に、入学のガイダンスとともに耳に入ってきた外国人建築家の名前が、ル・コルビュジエ、フランク・ロイド・ライト、ミース・ファン・デア・ローエの3巨匠。建築概論、計画の授業を通して、先生達の考えや好みになんとなく巨匠たち(私としてはアルヴァー・アルトや丹下健三も含まれていたのではないかと思うのだが)の趣が感じられると自分勝手に思いこんでいた頃でした。当時はまだ、現在のような透明感や軽さの感じられる建築よりはむしろ「存在感のある建築」が主流で、ル・コルビュジエを崇拝していた計画系の先生の授業で上野の美術館と文化会館を見てくださいという課題があり、覚えたてのル・コルビュジエの「近代建築の

5原則」を胸に潜めながら学生時代に訪れた「国立西洋美術館」を久しぶりに再訪しました。

本館は戦後、日仏間の国交回復・関係改善の象徴として、ル・コルビュジエによる基本設計そして坂倉準三、前川國男、吉阪隆正の実施設計・監理により1959年(昭和34年)に竣工した日本にある唯一のル・コルビュジエの建築です。また、阪神・淡路大震災で多くの

美術品が被災した教訓から、1998年(平成10年)に基礎部分に免震装置を取り付ける工事が完了し、建物のオリジナルデザインが継承された形で人命と作品を守る地震に強い建物として生まれ変わり、また、前庭の彫刻群の台座は免震性能をもつ台座へと交換されました。

西洋美術館の第一印象といえば、やはり建物を柱で持ち上げたピロティ空間。開館当時は彫刻作品が置かれていたピロティ空間だったそうですが、(体験していないが県立鎌倉近代美術館を思いながら。)現在は一部ガラス



19世紀ホール



モデュロールによる2段階の天井

で建物内部へと組み込まれ、現在のインテリアと融合した時代を感じさせないデザインとなっています。ル・コルビュジエの寸法体系モデュロールにより決められた前庭の石畳からピロティを抜けて玄関ホールに入ります。毎回感動する常設展入口の19世紀ホール(ル・コルビュジエが名付けたそうです)、3層吹き抜けの空間にコンクリート打放しの円柱が天に向かって立ち上がり、頂部で十字にかかった梁と交差して止まり、三角錐のハイサイドライトから柔らかな自然光が降り注ぎ、静寂な時間を感じさせながら彫刻群を照らしています。この柱と梁による日本的構成とル・コルビュジエのドミノシステムの考えがこの空間を劇的だけれども私たちにとっては違和感のない空間へと導いているように感じられます。



今は使われていない中3階への階段

ル・コルビュジエの手法スロープにより吹き抜け空間を視線の変化で楽しみながら、常設展示室への期待が徐々に高まっていきます。昇り切ると張り出したバルコニーから19世紀ホー



ル・コルビュジエの家具が置かれた屋内ピロティ

ルを眺め降ろす位置となり、空間を楽しむ演出がいろいろなところに仕掛けてあり、忘れ



昭和34年開館当時の鳥瞰写真

かけていた設計への思いがよみがえります。2階の展示室は19世紀ホールを囲む形で展示空間が四周に配置された回遊式の展示となっており、天井部分は高い部分と低い部分が組み合わせられ空間の広がりや変化を楽しむことができます。(天井高さはモデュロールにより226cmと452cm) 天井の高低差による光の壁と展示空間が終わりのない無限の展示(螺旋状)へと導いていきます。この次々と現れる展示空間を回遊しながら、作品以外の、たとえば現在は使われていない中3階への階段や、19世紀ホールへの開口、また力強いながらもモダンな手摺や内部の雨樋等いろいろな建築的要素にも興味はそそられていきます。

緑を囲む形で計画された前川國男設計の新館を鑑賞し、1階の屋内ピロティへと戻ると、そこはル・コルビュジエの家具と共に建物を感じることができる外部と一体となった気持ちのいい空間となっていました。若いころに幸運にも知ることができた「国立西洋美術館」、訪れるたびにこの建物が持つ近代建築思想に敬服します。

建物の維持保全を考える

川崎支部 恩田 耕爾

■建物のライフサイクル：建物は設計→施工→維持保全というライフサイクルをとります。建築物の寿命が50～100年といわれますが、建築物の安全性、衛生性、機能性、快適性等を構築する設備・仕上げ等の寿命は本来もつ建築寿命の20%～30%といわれています。建築物の維持保全については、近年高度成長時期のスクラップ&ビルドの考えが変わりました。沢山の建築物が世に溢れストックも膨大になり、社会資産の活用を図る声が大きくなりました。また、建築物に関わる費用を建物の一生（企画・設計から工事、運用、解体まで）で考える生涯維持保全費用（ライフサイクルコスト）の重要性が世界規模での地球環境問題とあいまって高まってきています。省エネ設計、設備の維持保全が求められます。考慮された設計による廃棄物の削減に繋がる設計行為が求められ、LCCの低い建築物が求められるようになってきました。

■維持保全の目的：①建物の維持保全には国宝、重要文化財の後世への文化継承という意味から行なうものがあります。最近では国宝の奈良薬師寺三重塔の修復工事、首都東京駅の改修工事、伊勢神宮の遷宮などがあります。文化の保存と技術の伝承を守るという目的があります。これら国宝、重要文化財の維持保全には建築基準法の適用除外が受けられます。②もう一つは都市にある沢山の建築のストックを有効利用し無駄なエネルギーを削除して、地球環境の保護という目的があります。マンション等の長期修繕計画に基づき改修計画を行ったり、建物の建基法12条の定期報告に基づき、EV等の設備を含め現状把握をしたりしています。耐震診断と補強計画も耐震改修促進法に基づき、昭和56年（1981年）宮城沖地震以前の建築物が対象の診断と補強工事も大きくは維持保全の中に含まれます。又、建物の用途を変更して再利用するという事例も最

近では目にします。用途を変更する場合は都市計画法も絡んできます。いずれにしても後者②の目的の場合には建基法が絡んでくる場合が多いです。

※最近の傾向として、3DKを1LDKに、集合住宅へEV設置等の機能の向上、事務所を住居への用途変更、工場、倉庫をミュージアムとか博物館に他、古い建築物を新しいニーズに対応できるように変化する事例も増えてきています。

■用語の定義：

- ①維持：物事をそのままの状態で持ち続けること
- ②保全：保護して安全にすること
- ③維持保全：設計段階で設定され、施工で実現された当初の性能や機能を損なわないようにする行為（BELCA）
- ④維持保全（広義）：狭義の維持保全に加えて、社会的要求の変化に対応して、初期性能の向上、新機能の追加、あるいは用途変更を行なうこと
- ⑤リニューアル：施設の運営管理において躯体以外の内装や設備が機能的に・物理的に老朽化した時にプロジェクトとして行なう大規模な改修工事（BELCA）
- ⑥リノベーション：単なる物理的劣化の更新に対応するのみならず、更なる時代へ機能面の向上を目指した改修とか社会情勢を反映して、建築物の用途、使用目的を大きく変更する事例も含まれる。IT化の技術革新、省エネ化・耐震化等の法的規制によるもの地球温暖化・少子高齢化等の社会環境や価値観の変化に施設の更新が含まれます。

⑦修繕工事：部分的に補修したり交換したりの軽微な工事

（出入りの業者や元の施工業者に特命で随意契約が一般的）

⑧改修工事：劣化した部分を撤去し、よりグレードの高いものに改良・改善する工事

（工事金額は修繕に比較し大きくなり、競争入札による場合も多い）

■維持保全に関する法規制：建築基準法第3条、8条及び12条、建築物衛生法、労働安全衛生法、消防法、省エネ法、耐震改修促進法、バリアフリー法、住宅品確法の住宅性能表示制度、水道法（水質検査）ビル管理法ほか（用途変更の場合は都市計画法がある）

■維持保全業務の実施者：基本的には建物の所有者が行なう。アウトソーシング（外部委託）の場合はビルメン会社に委託する場合もある。多くは建物の所有者、管理者が建築士等に維持保全の計画の作成、12条報告書の作成等を依頼することになる。

建物設備管理の資格として：電気主任技術者、ボイラー技術者ほか危険物取扱い関連等があります。

■維持保全の日常的なもの：警備業務・清掃業務、設備の日常的な運転保守業務



壁のクラック調査



ビル屋上防水調査（アスファルト露出防水）



薬師寺東塔（再生工事中）



東京駅復元工事（免振装置での基準法適合）



集合住宅外壁メンテのためのビティ足場構築

※昨今では日本の経済力に比較し、都市においてオフィスが過剰気味となり、また世帯数に対して住宅戸数が過多となり、単なるリフォーム、リユースでは解決できない問題も出てきています。地方では公共建築物の維持保全には財政上の問題も報道され、経済の右肩下がりの時代、建築だけでこれらを解決するには困難なものも多いです。

第17回リフォーム&リニューアル建築再生展

会 期：7月18日（水）～20日（金）

時 間：10：00～17：00

会 場：東京ビックサイト東4ホール

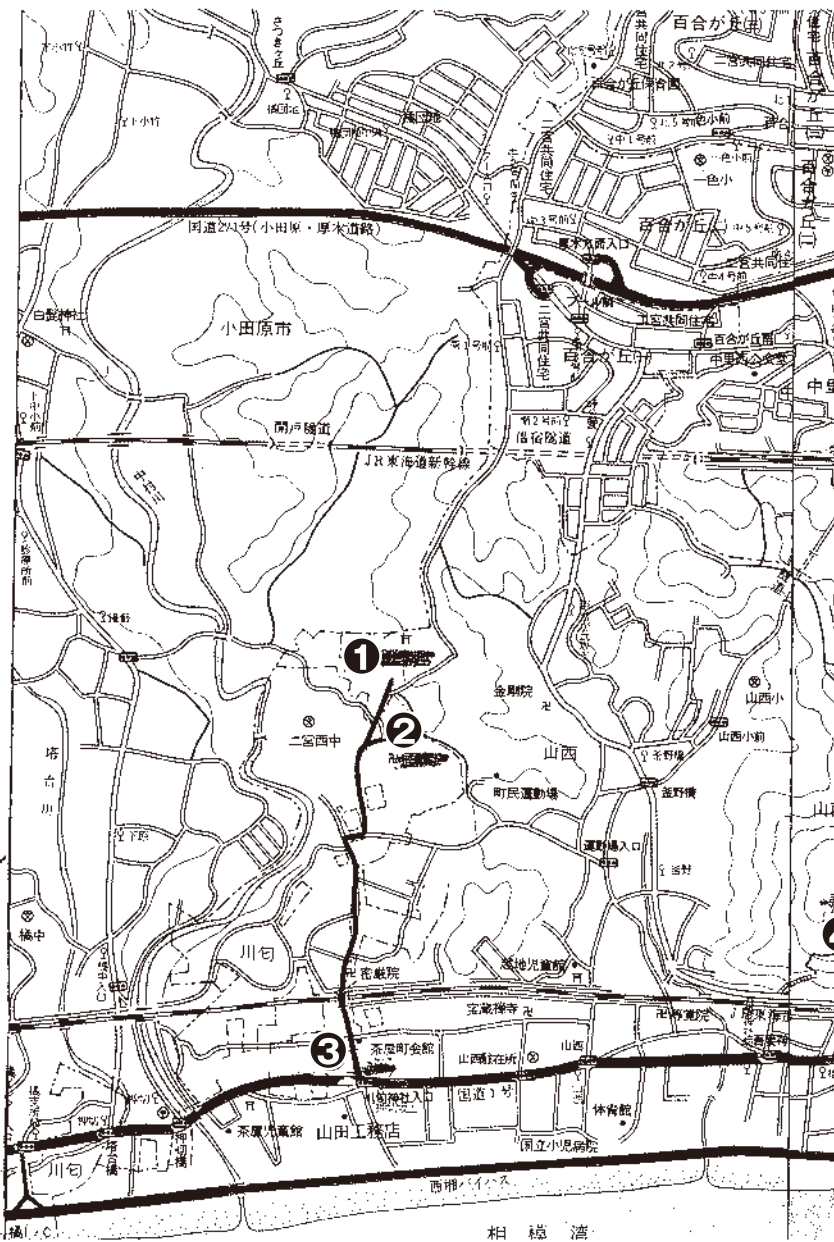
町並み散策ばらり in 神奈川 ~長



①
川勾神社
(相模国二宮)
当社は相模国二宮で古くは二宮大明神と称し1642年磯長国、



国宰である阿屋葉造(あやのみやつこ)が勅命を奉じて当国鎮護の為に創建したとされる。それより古く「吾妻鏡」建久3年(1192年)源頼朝が妻、北条政子の安産を祈願した神社として神馬が奉納されている。



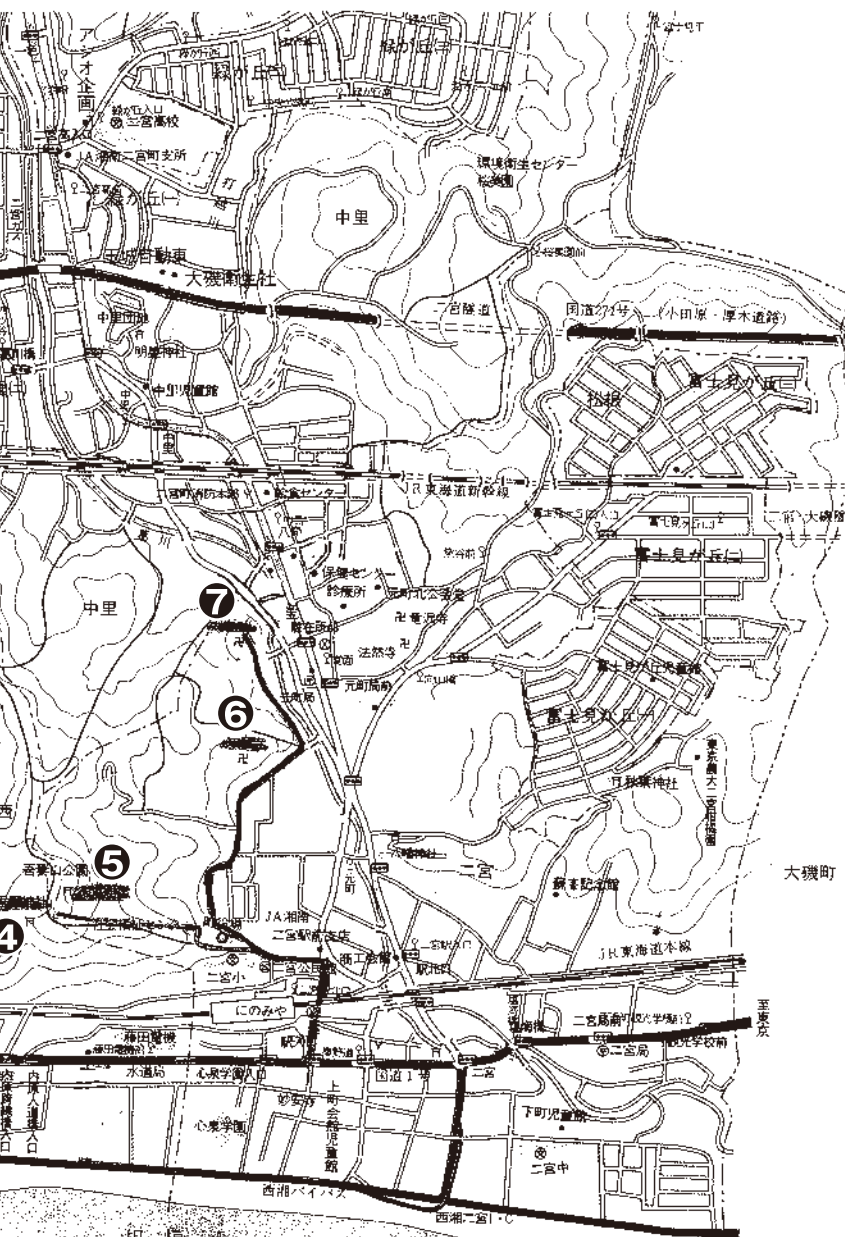
②
西光寺
境内に入っていくと、左手には子育て延命地蔵尊が、右手には六地藏が並んでいる。奥には「悠響の鐘」の鐘楼がある。子育て延命地蔵尊は、今から200年ほど前、寛政9年、大津波と疫病が蔓延したため多くの子供が命を亡くした、そのため厄除を願い地蔵尊を建立したとされる。



③
茶屋薬師
茶屋町会館を過ぎていくと、左手に薬師があり、薬師如来座像が安置されている。寄木造り彫眼漆箔の座像で江戸時代の作と推定される。



寿の里・二宮町歴史探訪～



⑦

大応寺

曹洞宗の寺で、開山は麟正(りんしょう)が天文7年正月に高遁斎道応(当時小田原城主)が当所内の蔵屋敷ならびに、林、田畑を寄付したという。



⑥

知足寺

葛川沿いに建ち並ぶ民家の間に続く路地を進んでいくと、浄土宗知足寺がある。正面には本堂があり、知足寺のご詠歌「日にみたびさとに流るる鐘の音は、足るを知れとの弥陀の御声」とある。また、境内に曾我兄弟の墓といわれている遺跡がある。



6



吾妻神社

日本武尊(やまとたけるのみこと)の東征の時、三浦半島走水から海路、上総へ渡ろうとすると、突如として暴風が起こり沈むかと思われた時、妻の弟橘媛命(おとたちばなひめのみこと)は夫の代わり海の神を鎮め、海辺に流れついた櫛を山頂に埋め祭ったとされる。



⑤

浅間神社

白木の祠(ほくら)で、祭神は木花咲耶媛(このはなさくやひめ)で土地の人には浅間さんとして親しまれ、縁結びの神様として信仰されている。



社団法人神奈川県建築士事務所協会 平成23・24年度 第8回・理事会概要

日 時 平成24年6月14日（木）14：00～17：00

場 所 （社）神奈川県建築士事務所協会 2階会議室

出席者 22名

- ・定足数の確認を行い、理事25名中20名出席のため定款第32条により会議成立を報告
- ・議事録署名人として佐藤理事・内藤理事を選出

- ・定款第31条により上原会長が議長となり議事を行う。

1. 議決事項

（報告事項）

第1号報告 会員(5月)の入退会承認についての報告
続いて、2名の退会と賛助会1社の入会
および3社の退会を報告

第2号報告 日事連建築賞作品推薦についての報告

第3号報告 後援名義使用依頼(4件)についての報告

第4号報告 建築士事務所登録(5月)についての報告

（審議事項）

第1号議案 正会員(6月)の入会について承認を求め
る件

2名の入会と1名の休会、並びに1名の共
済会友への入会を承認

また4名の退会を報告

第2号議案 (仮称)青年交流特別委員会規程案につ
いて承認を求める件

第3号議案 景観・まちづくり特別委員会委員の推薦
について承認を求める件

第4号議案 家づくりセカンドオピニオン特別委員会
委員の推薦について承認を求める件

第5号議案 横浜銀行との住宅ローンに関する協定書
について承認を求める件

2. 報告事項

(1) 日事連報告

(2) 各委員会報告

1) 委員会活動報告

ホームページ（会員ページ）にて確認するこ
ととした。

2) 委員会からの報告

1. 日事連50周年広報用シールの作成について
（総財務委員会）

2. マンション等の大規模修繕業務対応登録事務
所の名簿について（企画業務委員会）

3. 木造住宅・建築物振興施策の「地域型住宅
ブランド化事業」（国交省）における県木連
グループ構成メンバー登録者等について
（「住・緑・家」運営特別委員会）

4. みらいふれあいフェスティバル2012について
（みらいふれあいフェスティバル実行委員会）

5. スポーツ大会について（ブロック支部委員会）

(3) その他

1) 県西支部創立50周年記念式典のご案内（事前
のお知らせ）について

2) 行事日程等

3) その他

来年度の全国大会（三重県）について

※詳細は当協会ホームページをご覧ください。

委員会活動報告 ～みらいふれあいフェスティバル2012開催へ向けて～

実行委員長 白井 勇

昨年度の第1回開催に際しましては、会員の皆様方からの多大なるご協力をいただき無事盛会裡に開催することができましたこと心より御礼申し上げます。また、今年度は会場を横浜産貿ホール・マリネリアに移し、10月20日(土)～21日(日)の2日間「防災・省エネの住まいづくり」をテーマに第2回目を開催いたします。現在、各委員会と賛助会合同の準備運営組織を結成し、神奈川県はじめ県内の特定行政庁、関連団体のご協力も仰ぎながら、開催へ向け準備を行っております。また今回は建築作品展を併せて開催しますので、是非ご参加下さいますようお願い致します。（同封の別紙ご案内をご覧ください）会員の皆様方におか

れましては、昨年に引き続きご協力をいただきま
すよう何卒宜しくお願い申し上げます。

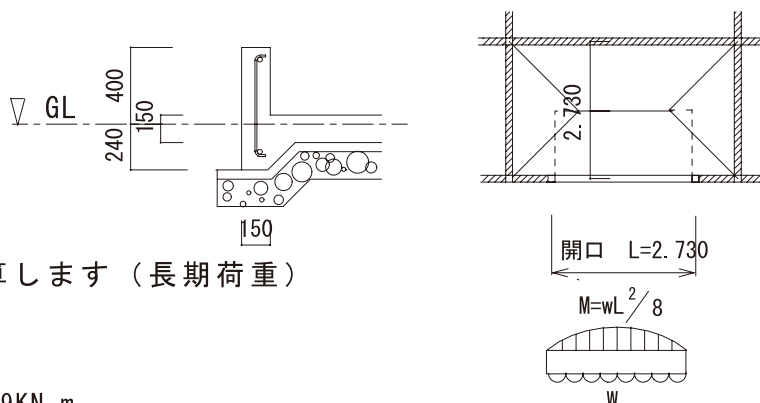
タウンビュー 特別版



東北の雄勝石が屋根にのった東京駅外観

建築Q&A 「木造基礎梁の断面算定について」 vol.10

[Q] 木造基礎梁の断面算定



[A] 開口部下（柱芯間）で計算します（長期荷重）

梁長期曲げモーメント

$$M = wL^2 / 8$$

$$M = 9.56 \times 2.73 \times 2.73 / 8 = 8.9 \text{ KN} \cdot \text{m}$$

$$Q = WL = 9.56 \times 2.73 / 2 = 13.0 \text{ KN}$$

主筋

$$a_t = M / f_t \times j \quad \text{SD295A} \quad f_t = 195 \text{ N/mm}^2$$

$$j = (640 - 80) \times 7/8 = 490$$

$$a_t = 8900000 / (195 \times 490) = 93.1 \text{ mm}^2 \rightarrow 1\text{-D13}$$

せん断力の検討

使用コンクリート $F_c 21$

$$\text{許容せん断力} \quad Q_a = f_s \times b \times j \quad f_s = 0.7 \text{ N/mm}^2$$

$$\text{許容せん断力} \quad Q_a = f_s \times b \times j = 0.7 \times 150 \times 490 = 51450 \text{ N}$$

$$Q_a = 51450 \text{ N} > 13000 \text{ N} \quad \text{OK}$$

$$PW = 0.2 \text{ として} \quad \text{ST. D10-200@}$$

2階建て重い建物

床荷重 7.0 KN/m^2

$b : 2.73 \text{ m} / 2$ として

$$W = 7.0 \times 2.73 / 2 = 9.56 \text{ KN/m}$$

※ 床荷重は、仕様、梁の配置により変わります

☆☆美術展チケットプレゼント Vol.2☆☆

一箱根美術館／MOA美術館「心にサプリメントを…」

県西支部 芝 京子



■筆者のお気に入り作品■

「色絵牡丹青海波文皿 鍋島」
(箱根美術館 所蔵)

海の藍色と牡丹の赤のコントラストからは何とも言えない品格が漂う。

「美術品は決して独占すべきものではなく、一人でも多くの人に見せ愉しませ、人間の品性を向上させる事こそ、文化の発展に大いに寄与する」

箱根美術館の創設者 岡田茂吉は信念のもと、戦後優れた美術品の収集に努め、海外への流出を防ぎ、箱根町強羅に箱根美術館を開館。その後昭和32年、熱海にMOA美術館（当時は熱海美術館）を開館しました。

「六古窯」と呼ばれる日本の古陶磁を中心に展示し、四季折々の変化を楽しめる庭園が併設されている箱根美術館、国宝「紅白梅図屏風（尾形光琳筆）」を所有し、日本・東洋の古美術を中心に展示しているMOA美術館。いずれか一館を観覧できる招待券（有効期限：2012年12月23日）をペア2組にプレゼント！！

■ご応募は支部名、お名前、会報の感想を添えて

sakamoto@j-kana.or.jpまで。

※当選者への発送は8月号会報に同封。(7月31日締切)

(協力：箱根美術館／MOA美術館)

賛助会員紹介

株式会社アイタン

担当者：西 鋭三郎

所在地：〒213-0021川崎市高津区千年新町29-2

TEL：044-766-9909 FAX：044-740-5546

事業内容：消防用設備 設計・施工・保守・販売



『会社の特徴（PR）』

フットワークが抜群

平均年齢29才、チームワークと機動力に自信あり。

24時間緊急対応

点検スタッフ38名(全スタッフ消防設備士免状取得)と充実。夜間、土日祝日の緊急対応が可能です。

安心の低価格を実現

全て社員対応により中間マージンを削減。

末端価格で高度の技術を提供致します。

システム管理の充実

最新のネットワークシステム管理により社員全員での情報を共有する事により、フットワークの良い対応が可能です。

? 旅のクイズ 第24回 ? ? ?

問題

階段を降りると大通りの下にある昭和レトロな映画館にたどり着きます。この道路の名称をお答えください。

ヒント：東京都です。

答えをメールまたはFAXにて神事協事務局までお寄せ下さい。

正解者の中から抽選で御一人に1000円の図書券を差し上げます。

(FAX: 045-212-3807

E-mail: noguchi@j-kana.or.jp)

※締め切り：平成24年7月20日(金)

当選者は8月号にて発表予定です。

※広報情報委員と事務局員及び家族の方のご応募はご遠慮ください。



第23回(6月号掲載)の当選は下記の通りです。

正解：京都 東寺

当選者：相模原支部(株)開匠建築設計 千葉様

会員異動報告		
入会		
横浜支部		
北沢建設(株)一級建築士事務所	北澤 正浩	
〒241-0005 横浜市中区白根4-30-3		
TEL.045-953-2674 FAX.045-955-0747		
J X エンジニアリング(株)一級建築士事務所	辻村 英雄	
〒231-0062 横浜市中区桜木町1-1-8 (日石横浜ビル)		
TEL.045-415-1136 FAX.045-415-1142		
退会		
横浜支部		
(株)シャルル	佐々木つや子	
川崎支部		
良一級建築士事務所	遠藤 良三	
オフィス・タシロ二級建築士事務所	田代 喜美子	
鎌倉支部		
ソーケンホーム(株)	小畑 秀雄	
変更		
横浜支部		
(株)ユー・アール・ユー総合研究所 (中)		
(所在地変更)		
〒231-0861 横浜市中区元町1-11-1		
(有)コウゲン住宅一級建築士事務所 (青葉)		
(事務所名変更)		
コウゲン建設(株)一級建築士事務所		
横須賀支部		
(株)てらだ設計室一級建築士事務所		
(所在地変更)		
〒238-0023 横須賀市森崎1-10-13		
県西支部		
(有)稲葉建築事務所	稲葉 勉	
(会員名変更)		
休会		
愛川支部		
セイユウ企画(株)一級建築士事務所	天野 正	
共済会友異動報告		
入会		
県西支部		
〒259-0314 足柄下郡湯河原町宮上349-1	稲葉 隆	
本誌掲載記事の内容は執筆者本人の見解において記述・掲載をしております。神事協としての見解ではございませんのでご了承下さい。		

7月の行事予定	
7月2日	総財務委員会
	みらいふれあいフェスティバル実行委員会
3日	建築主とのトラブル回避について研修会(会場:横浜市開港記念会館)
4日	JW-CAD初級(木造編)研修会 1日目(会場:県立東部総合職業技術校)
11日	正副会長会
	委員長会
	家づくりセカンドオピニオン特別委員会
	JW-CAD初級(木造編)研修会 2日目(会場:県立東部総合職業技術校)
17日	景観まちづくり特別委員会
19日	技術調査委員会
20日	企画業務委員会
24日	ブロック支部委員会
25日	「住・緑・家」運営特別委員会
	木造特別委員会
27日	まちづくりに関する勉強会(会場:神事協会議室)
31日	広報情報委員会

会 勢		平成24年7月1日現在				
支部名	平成24年3月末日	現在	入会者	退会者	増減	
横 浜	275	245	12	42	-30	
川 崎	97	97	3	3	0	
横 須 賀	52	52	0	0	0	
湘 南 三 浦	18	18	0	0	0	
藤 沢	23	24	1	0	1	
鎌 倉	36	36	1	1	0	
茅ヶ崎葉川	18	19	1	0	1	
平 塚	21	21	0	0	0	
伊 勢 原	8	8	0	0	0	
秦 野	18	18	0	0	0	
大和綾瀬	20	20	0	0	0	
厚 木	36	36	0	0	0	
座 間	13	12	0	1	-1	
海 老 名	15	15	0	0	0	
愛 川	7	8	1	0	1	
相 模 原	83	81	0	2	-2	
県 西	47	47	0	0	0	
合 計	787	757	19	49	-30	
賛助会員	74	74	3	3	0	

ホームページ等の不具合についてのお詫びとご報告

この度は、協会ホームページ・事務局メールアドレス等が長時間に渡って、利用不可となりましたこと深くお詫び申し上げます。

不具合については6月20日から21日にかけて発生したレンタルサーバ(ファーストサーバ(株))の大規模障害により、サーバが初期化されデータが消失されたことが原因であります。また、事務局にて復旧作業を行い、現在はホームページ、メールともに復旧いたしておりますことをご報告させていただきます。

編集後記

6月に入って梅雨入りし、うっとうしい日々が続き体調がついていきません。編集の委員会も中々大変の様相で、頁の割振りをどの支部にお願いするか委員長も大変です。これからも皆様に楽しんでもらうよう頑張ります。

(海老名支部 杉崎雅治)

かながわ 平成24年7月号 (通号369号)			
発行	平成24年7月1日 (毎月1日発行)	担当副会長	芝 京子
発行人	上原 伸一	広報情報委員長	佐藤 光良
発行所	社団法人 神奈川県建築士事務所協会	広報情報副委員長	内藤 隆之
	〒231-0032 横浜市中区不老町3-12	広報情報委員	稲葉 勉
	第3不二ビル2F		北野 義夫
	TEL. 045-228-0755		杉崎 雅治
	FAX. 045-212-3807		竹尾 秀一
印刷所	株式会社 柏苑社	事務局	野口 友弘
			恩田 耕爾
			小泉 厚
			高橋 保博
			新倉 良一
			坂本 歩美

みらい ふれあい フェスティバル 2012

2012年10月20日(土)・21日(日)
横浜産貿ホール マリネリア

こし
の
テーマは

防災・省エネの住まいづくり

耐震・免震・液状化・太陽光発電・節電・省エネ対策・県産材を使った住まいづくり

●開催の目的

「防災・省エネの住まいづくり」をテーマに「みらいふれあいフェスティバル2012」を開催します。県民と建築関係者との交流のなかで、防災について建築士の視点から、知り・考え・行動に移す機会をつくっていきます。

●企画・イベント

みらいふれあいコーナー

県内各地の子どもたちに「私たちのまちづくり」について自由な発想で考えてもらい、発表・展示・表彰を行います。

イベント

- 建築士から見た東日本大震災被災地の現状
- 東北復興支援物産店

展示・体験コーナー

- 建築に関する展示や技術の紹介
- 県内の建築士事務所の建築作品展
- 県内の学生による作品展
- 箸づくり体験コーナー

相談・セミナーコーナー

- 耐震、地盤、コンペ、リフォームなどの無料相談
- 耐震、地盤、省エネ、環境、コンペ、リフォームなどのセミナー



主催：(社)神奈川県建築士事務所協会 共催：(社)日本建築士事務所協会連合会

後援：国土交通省、神奈川県、横浜市、川崎市、相模原市、横須賀市、藤沢市、

(予定) 鎌倉市、厚木市、平塚市、小田原市、秦野市、茅ヶ崎市、大和市、

(社)神奈川県建築士会、(社)日本建築家協会関東甲信越支部、(財)神奈川県建築安全協会、神奈川県木材業協同組合連合会、他